



旭鮎総本店株式会社 東京都世田谷区赤堤4-40-8 NO.245
TEL03-3322-3334 FAX03-3327-3333 E-mail:a-honbu@asahizushi.com

実りの秋を堪能して頂くために

秋満載の『先出し』を用意して

涼風と共に、実りの秋がやって来た。数多くの食材が、味、香り共豊に充実してきたが、それを受け容れる私達の味覚神経も、「食欲の秋」に相応しく、鋭く研ぎ澄まされしかも食欲になっけてきている。
旭鮎では、この秋という季節を十分に堪能して頂くよう、知恵を絞って試作を重ねながら、お客様のご来店に備えている。
旭鮎ではこの点に神経を遣い、産地を訪れて生産者から直接送って貰った



『秋を楽しむ先出し』の一例

- ・先出しをご覧になって、ご不明な点はお気軽に質問して下さい。
 - ・ご賞味後、ご感想をお聞かせ下さいませ。
- (先出しのメニューは、日によって変わり、店によって異なります。)
- 1、秋はキノコの季節で、市場には沢山出廻っています。しかし香り・食感など中々いいものが見つかりませんでした。そんな中で、新潟のある農家が素晴らしいマイタケを作っていることを発見しましたので、それを焼いて盛り込んでみました。
 - 2、今まで加賀レンコンを使っていましたが、この度霞ヶ浦の手造りに拘っている蓮田から、風味豊かなレンコンが採れているのを見つけました。今回蒸しただけのものを盛り込んでみました。
 - 3、菊は秋を代表する花です。この花を目で楽しむだけでなく、舌でも味わってみようと思われたのが食用ギクです。これには山形県の「もってギク」に勝るものはありません。ポイルして甘酢に漬けたものを盛り込みました。
 - 4、「秋ナスは嫁に食わずな。」と古くから言われるように、秋ナスは珍味です。普通鮎屋でナスは使いませんが、敢えて秋ナスを焼き田楽味噌をかけてみました。
 - 5、秋の果物の一つにカキがあります。このカキをゴマソースで和えてみました。何とも不思議な味が味覚を刺激してくれました。
 - 6、ヒカリモノと呼ばれるアジ、コハダ、サバなどはよく酢にします。タイやヒラメは、贅沢な昆布アにします。これらを一口で食べられる大きさの押し鮎にして盛り込んでみました。
- (旭鮎では、至らないながらもお客様と一緒に秋を楽しむとうと懸命に努めています。ご感想、ご意見などのほか、お気づきになられたこと何でも、お近くにいる従業員にお伝え下さいますようお願いいたします。)

り、河岸へは専門の目利きが行き、現物に触れながら厳選に厳選を重ねている。

しかしスタッフだけの努力では、どうしても独りよがりになり易い。何とかしてお客様にも教えて頂きながら、お客様と共に秋を楽しむために考え出されたのが、『秋を楽しむ先出し』だ。先にお出しするから『先出し』と名づけたが、秋を代表する食材を組み合わせて一口大にしたものを数品、お皿に盛り合わせてお出しする。お客様から、「これ何ですか。」「あ、それは柿の胡麻ソース和えて下さい。」と柿と胡麻なんて面白い取り合わせですね！

秋を掘り下げていくにつけていけばと、考え出されたものだ。鮎屋としては、大変ユニークな発想で、これに対応する板前たちも、勉強を深めなければ」と緊張している。

私は思う

私はこう思います。皆さんはどう思いますか。

《マグロ》
マグロもまた秋の深まりと共に美味しさを増してきます。豪快なマグロ一本釣りのテレビ実況放送ですっかり有名になった青森は大間の本マグロ漁、今年もそろそろ始まる頃だと思えます。確かにこの本マグロにはいいものが多くみられ、したがって美味しいマグロの代名詞として大間の本マグロが使われるほど、一般に流通してしまいました。
しかしマグロは世界中の海で獲れています。養殖物も増えてきています。加えて冷凍技術や解凍技術の格段の進歩で味の差がほとんど縮まってきて、世界のマグロ事情は日に日に変わってきています。
こんな中私は、勝浦、銚子、塩釜等に揚がってくる近海物のメバチマグロとキハダマグロに注目しています。
「柿と胡麻なんて面白い取り合わせですね！」
こんな会話が、お客様と共に。

赤身が美しいメバチマグロは、甘くてスツキリした味わいが特徴と言われるように、香りと共に爽やかさが感じられ、最近人気が高まってきた赤身を好む通人に愛されています。一方キハダマグロは、秋の深まりと共に脂が乗ってきて、上品で深い味わいの特徴としながらも、「脂もの」のキハダマグロは絶品です。」と言われるようになってきました。このキハダマグロは大変希少で、なかなか市場にも出回らないものです。何れも特徴豊富な存在で、本マグロと共にお客様に食べ比べながら楽しんで頂くよう、旭鮎ではこの三種類のマグロを仕入れていきたいと考えております。商いにおいて大いに活用して頂きたいものです。

(株)アサヒタカノ 新役員人事発表

旭鮎の関連会社「株式会社アサヒタカノ」の臨時株主総会が八月二十五日に開催され、代表取締役高野健明の退任と塚田康太郎の代表取締役就任が決議されました。その他役員人事も一新新体制をもって新たな年度を迎えることとなりました。

- (株)アサヒタカノ役員
代表取締役 塚田 康太郎
非常勤取締役 高野 健明
非常勤取締役 立嶋 重雄
非常勤取締役 丹羽 豊
非常勤監査役 高野 明久

この度、株式会社アサヒタカノの代表取締役就任しました塚田康太郎と申します。多くの方は聞き覚えのない会社名ですが、当社は旭鮎総本店の関連会社で、契約しているマレーシアのホテルグループへの生鮮食品輸出と旭鮎の社員寮を含む不動産管理を生業としております。

ふぶの季節いよいよ

涼しさも時折感じられる頃になり、いよいよ冬の味覚「ふぶ」の季節が近づきました。旭鮎ではこの時期、ふぶ料理が文字通り商いの中心となっても過言ではありません。

旭鮎がふぶを取り扱うようになって四〇年が経ちます。現在は三〇名のふぶ調理師が在籍しており、毎年三〜六名が受験しています。私自身、受験者の講習を任されていますが、東京都と神奈川県、茨城県の試験も任じられており、落第者は出さないよう徹底的な指導を心がけております。新卒求人の応募理由にもふぶ調理師免許が取得でき

将来的には輸出、不動産事業共に商いの拡充を見込んでおりますので、旭鮎共々発展していきたいと思っております。今後ともよろしくご願ひ申し上げます。

取締役副社長 立嶋 重雄

東京都ふぶ調理師試験合格者の結果が一〇月一日発表になり、当社勤務の二名が合格となりました。
野田 富泰(新百合本館)
川上 武志(ペペラ五三下店)

七月〜九月の出来事

旭鮎の全出前車両九台と魚河岸用トラック一台にドライブレコーダーが取り付けられました。
毎年のように大なり小なりの車両事故が発生し、今年の三月には新百合ヶ丘で人身事故まで起きてしまいました。この為保険会社とも相談し、運転者の意識の向上と事故の抑止を目的に、ドライブレコーダーを全社に導入することとなりました。
いよいよふぶ季節到来です。天然ふぶは仕入価格が九〜一〇月に比べ一〜二月は二倍、一二月は三倍に高騰しますが、旭鮎では一括仕入れでお求めやすくご用意が出来ます。ぜひ専門のふぶ調理師の居る旭鮎で美味しいふぶ料理をお楽しみください。

■うなぎ寿し
七月二十九日、土用丑の日恒例の「うなぎ寿し」の販売が行われました。今回は通常の愛知県産うなぎを使ったもの(二八〇〇円)と中国産を使ったもの(二〇〇〇円)の二商品で予約を受けましたが、結果的に中国産の注文はほとんどありませんでした。やはりお客様は旭鮎に「本物」を求めており、味にこだわりをもっていらつしやるという

にこだわりをもっていらつしやるということでしょう。
製造した六〇〇個はすべて完売となりました。

■和良川のアユがグランプリ
今シーズン、数量限定でご予約いただいたお客様にご提供した岐阜県和良川のアユ。九月二日に行われた「第一七回清流めぐり利き鮎会」で見事グランプリを獲得いたしました。
二〇府県の四九河川から持ち寄ったアユを、およそ三〇〇名の参加者が産地を伏せた状態で味、香り、見た目などを判定するもので、和良川は二〇〇二年、二〇〇九年と併せて史上初の三度目の栄冠に輝いたのです。
これに先立つて八月初旬には当社の竹内常務と後藤副本部長が和良川に赴き、現地の方との交流も深めました。今期食べられなかった方も来シーズンにはぜひグランプリのアユを。

■来春の新卒者採用
九月一六日、来春の新卒者選考面接が行われ、男子九名・女子一名の合計一〇名の採用が決まりました。
平成二七年四月には旭鮎の新たな仲間として加わります。新たな人生の航

祝ご出産

東急吉祥寺店 小岩 大樹さんに、平成二六年六月 次男が誕生しました。



健康やかなご成長をお祈りいたします。

平成二七年新春
おせち予約受付開始

二段重おせち 25,000円 (税込)
12月31日(水)お届け 限定1000個

毎年ご好評を戴いている新春のおせち料理の予約受付が10月1日より始まりまし。昨年の献立内容を見直し、煮あわびは素材から変更するなどさらに味の追求をいたしました。旭鮎料理長が一段と美味しさに磨きをかけたおせち料理です。ぜひご賞味ください。

【式の重献立】写真上
・紅白かまぼこ・杉板つつみ(餅)・野菜の煮ア・どんこ椎茸煮・ローストビーフ・栗きんとん・伊達巻・叩きごぼう・豚ばらコンフィ・わかかも甘露煮・スモークサーモン・干鰯

【志の重献立】写真下
・鹿喉豆・クランベリークリームチーズ・子宝きくらげ・くるみ小女子・煮あわび・車えび甘煮・いくら・しいし焼煮・焼き穴子・花餅てまり・パテドカンパニニュー・数の子・こはだ卵の花

またおせち料理には、旭鮎グループで使用できるお食事券5,000円分が同封されています。さらに11月末日までにご予約いただくと3,000円分の食事券もプレゼントいたします。ご予約はお早めに。

詳しくは【旭鮎本部フリーダイヤル】0120-644-009

【編集後記】
今まで社内報の「祝ご出産」にはお子様の出産日と名前を記載していましたが、これは社内報があくまでも旭鮎従業員と関係各社に限られているとの考えからですが、一方で店内に貼り出されるなどして外部の目にも晒されているのも事実です。先ごろのベネッセの個人情報流出事件もあり、改めてスタッフと討議し、今回の号からは名前などの詳細を掲載しないことといたしました。皆様のご理解の程、お願い申し上げます。